

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 経皮的腎生検後の安静度緩和の安全性と出血合併症リスク因子保有患者における出血量に関する記述研究
	●研究の対象 ・18歳以上の当院にて2024年4月から2025年8月までに腎生検を行った患者さん ・研究課題23-337「経皮的腎生検後の安静度緩和の安全性に関する前向き症例集積研究」に登録された患者さん ・同期間に腎生検を行ったが、23-337の研究から除外されたその他の患者さん
	●研究の目的 腎生検は腎臓の病気を診断するために重要な検査ですが、まれに出血などの合併症が起こることがあります。そのため、日本では検査後16～24時間ほどベッドで安静にするのが一般的です。一方で、リスクが低いと判断された方では、検査後4時間ほどで安静を終えても安全だという報告もあります。 本研究では、以前に当院で実施された「検査後4時間で安静を終える臨床研究」に参加された患者さんの記録を使用し、この短時間安静プロトコルの安全性を確認します。また、事前に出血リスクが高いと判断された方と比べて、検査後の出血の程度に違いがあるかもあわせて検討し、より適切な安静時間を考える手がかりとすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2027年3月31日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <p>病歴、治療歴、腎生検に関連する出血リスク評価、生検後の出血所見（血腫サイズ、肉眼的血尿の有無など）、ヘモグロビン値の変化、入院期間、合併症の有無、カルテ番号、検査・処置記録、超音波検査画像および読影レポート 等</p>
《利用する者の範囲》	<p>●機関名および責任者名</p> <p>浜松医科大学 生活習慣関連疾患重症化予防医学講座 腎臓内科 岩倉孝政</p>
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 生活習慣関連疾患重症化予防医学講座 腎臓内科</p> <p>担当者： 岩倉考政</p> <p>TEL： 053-435-2261</p> <p>E-mail： tkms0421@hama-med.ac.jp</p>